

とぴあ *topia*

? 毎日のギモン紙面相談室



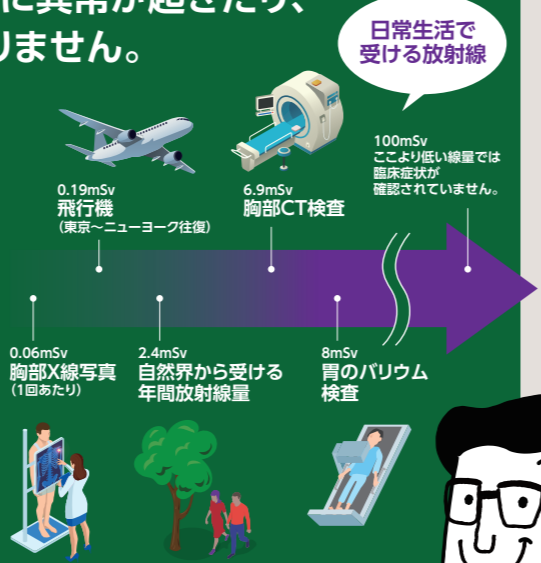
先日レントゲンを撮ったのに
今日も撮って大丈夫?

とぴあ先生
教えてください!

通常のX線(レントゲン)検査によって身体に異常が起きたり、
がんが発生したという具体的な報告はありません。

X線検査による被ばく量は、私たちが毎日浴びている「自然放射線^{*}」
と比べてもそれほど多い量ではありません。例えば、胸部正面撮影
の被ばく量は、「東京とニューヨークを飛行機で往復するときに受け
る宇宙線よりも少ない」です。また、放射線そのものは体内に蓄積さ
れないため、身体に放射線が残って障害を生じることはありません。
X線検査は、疾患やケガの早期診断や治療になくてはならない有用
な検査です。撮影をする診療放射線技師は被ばくをできる限り少な
くする努力を常に行なって検査していますので、安心して検査を受
けてください。不安なことやご質問などがありましたら、遠慮なく医
師や診療放射線技師にご相談ください。

*自然放射線には、宇宙や大地から受ける「外部被ばく」や、食物や空気中のラドンから受ける「内部被ばく」があります



皆さんからの質問に、
とぴあ先生がお答えします!

とぴあ先生
豊富な経験と知識をもち、仲間や
患者さんから信頼される、富田浜
病院に勤める医師の理想像。

お願い

富田浜病院グループでは、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、
皆さまをお迎えしております。来院、ご利用の際は、ご協力よろしくお願いたします。

医療法人 富田浜病院

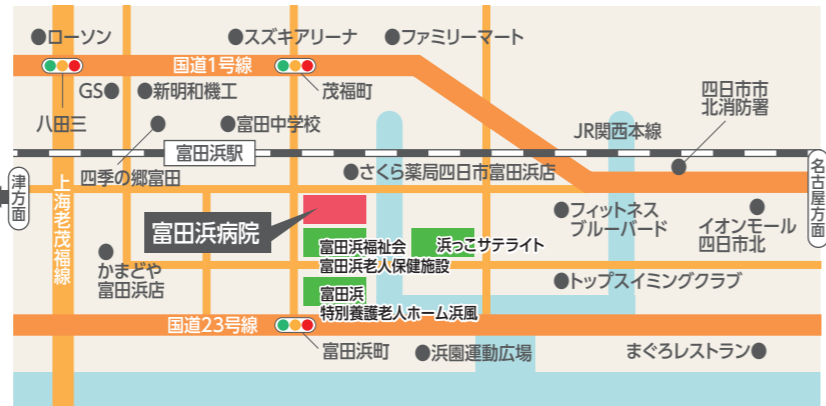
〒510-8008 三重県四日市市富田浜町26-14

お気軽にお問い合わせください

tel 059-365-0023

富田浜病院 検索

HPIはこちら



患者さんが普段通りの
生活を取り戻し、
笑顔になることがやりがい。

高校時代は商業科で、そのまま就職を考えていましたが、進
路の先生から「作業療法士」という仕事の存在を聞き、私に
合っている!と思ったことが理由で、この道に進みました。作業
療法士の役割は、患者さんへのリハビリを通して、生活場面で
の日常動作を、できるだけスムーズにできるようにすること
です。病気やケガによって、これまでできていたことができな
い、という苦勞をされている患者さんが、少しずつでも“普通の生
活”を取り戻すことで、笑顔になっていかれることに、とてもや

りがいを感じています。
実は、小学校3年生から今までダンスを習っていて、この経験
を活かした活動もしていきたいと考えています。今はまだ3年
目で、覚えることばかりですが、お子さんを含めた患者さん
が、楽しく踊りながらリハビリができるプログラムも考えたい
と思っています。コロナ禍の前はリアル、今はオンラインの勉
強会もあり、積極的に参加することで、私自身も成長を実感し
ています。ただ、本当に大切なのは、患者さんに合わせたリハ
ビリをすることです。富田浜病院グループでは、リハビリス
タッフと、看護師や介護士が連携していますので、リハビリ以
外の相談でもかまいません。私を含め、スタッフに、不安や疑
問など、ぜひ何でも伝えてください。

Staff
Voice

富田浜病院 外来リハビリテーション
作業療法士
儀賀 彩能



部署 紹介

がいらい 外来リハビリテーション



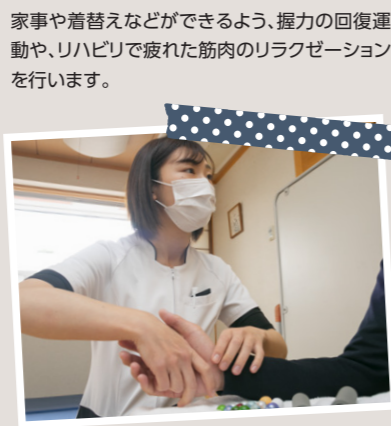
病院から退院した患者さんを中心に、3職種がチームとなりリハビリを提供。

外来リハビリテーションは、3つの専門職がチームとなって、病気やケガなどによって低下した機能の回復を目的として患者さんにリハビリを提供しています。理学療法士は、立つ、歩くなどに必要な腰・股関節・膝関節・足関節を担当し、基本動作や移動能力の獲得を目指します。作業療法士は肩や肘、手などを担当し、日常生活の動作をほ

め、趣味や仕事の能力までの獲得を目指します。言語聴覚士は、飲み込みや話すことなどの機能回復や、患者さんに合った食の提案などを行っています。杖の正しい使い方のご説明や、ご自宅での自主トレ用のプリント配布などもしておりますので、ぜひお聞きください。ベッドの消毒など対策を徹底してお待ちしています。



日常生活をするために必要な動きができる角度に曲げることができるか、曲げた際の痛みはないかなどをチェックします。



家事や着替えなどができるよう、握力の回復運動や、リハビリで疲れた筋肉のリラクゼーションを行います。



視覚的に問題がなくても脳の機能低下により言葉が出ない場合があります。その回復訓練も、たくさん種類があります。

患者さん、ご家族の皆さんへ

患者さんに合わせたリハビリこそが大切だと思っています。多職種が連携してリハビリを提供することはもちろんですが、患者さんやご家族の方から、いろいろなことを話していただくことこそ、より良いリハビリにつながります。何でもご相談ください。

スター制度のご紹介

「スター制度」認定者インタビュー

富田浜病院グループでは、医療・介護業務以外の場面でも、技術やノウハウの習得や、それを通じた社会貢献活動に努めています。「スター制度」は、その活動が顕著であった職員がノミネートされるグループ内の評価制度。活躍に応じて「★」～「★★★★★」の段階があり、職員のネームプレートに掲載しています。



三重県サッカー協会U12県トレセン選手のメディカルサポートをしています。

県内から選抜された12歳以下の選手に対して、障害予防を中心に、負傷者に対してのコンディショニングや救急処置といったスポーツ現場での応急サポート、コンディショニングを整える活動をしています。私自身もサッカー経験者であり、スポーツ選手をサポートすることに興味を持ってきました。病院は治療に関わることが中心ですが、これまでの経験や三重県サッカー協会での知識をもとに、病院においても予防の観点にも力を入れていくと同時に、早期発見や拡大防止にも努めたいと思っています。

富田浜病院 リハビリテーション課 理学療法士 寺本 祐二郎



手術中の感染防止対策をもとに、院内全体の感染防止対策に注力。

手術室看護師として働きながら、院内感染防止対策委員として、手術部位感染に対する知識の向上を図り、予防策を実施できる体制構築を進めてきました。具体的には、手術部位の感染調査を行い、得たデータのフィードバックや評価をしながら、新たな対策を考え実行しています。また、手術以外における感染リスク軽減にもつなげられるよう、患者さんの術前～術後の経過観察をもとにしたリスクの調査や予防策の策定を通して、スタッフへの意識づけに努めています。これからも安心して入院・来院できる富田浜病院グループであり続けるよう活動していきます。

富田浜病院 手術室 看護師 長谷川 翔平

